

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり菊水元町 とまと館		
所在地	札幌市白石区菊水元町9条1丁目3番1号		
自己評価作成日	平成30年1月19日	評価結果市町村受理日	平成30年3月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.hlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2017.022_kan=true&JigyosyoCd=0170502512-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成30年1月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に恵まれた場所であり、日常的に季節の移り変わりをを感じる事ができ、地域の皆様の協力を得てこの地で安心した毎日を過ごさせて頂いております。また、医療機関・ご家族様の協力によって看取り介護を行わせて頂き、職員の大きな成長につなげることができました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームみのり菊水元町」は2ユニットの事業所で、同一法人が経営している有料老人ホームに併設して建っている。バス停からも近いので家族などの来訪者が多い。町内会館で行われる「ふれあい広場」ではクリスマス会でケーキを食べたり、カルタ遊び、折り紙作品、健康体操など、プログラムを選んで交代で参加している。事業所独自で行っている「地域交流バーベキュー」には、近所の方が準備や後付けに参加して食事を利用者と一緒に楽しんでいる。大きな行事には地域ボランティアの催しもあり、地域との関係作りを丁寧に行っている。法人研修や内外の研修で学びを深め、利用者目線を大切に個別の想いを汲み取って良質のサービスを提供している。馴染みの人との関係や場所を継続的に支援し、百合が原公園、モエレ沼公園、近くの公園などに出かけている。また利用者の可能性を引き出しながら生き生きとした暮らしを支えている。市の計画から事業所は今年の3月頃に隣接している同法人の高齢者施設と、同区の平和通の場所に移転することになり、利用者・家族が安心できるように説明している。現地で2004年の開設後に作り上げてきた実績を基に、管理者と職員は移転先で町内会との関係作り、近隣との付き合い、地域資源の活用など新たにに取り組む姿勢で、家族と一緒に利用者の安定した暮らしに向けて準備中である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域との交流、一人一人が望まれる尊厳のある生活支援を揚げた理念であり、職員が日々唱和し実践に努めております。	理念の中に地域と交流するという地域密着型サービスの文言が入っており、申し送り時に唱和して共有を深めている。新人研修の中で理念を学び、管理者との個人面談時にも理念を話し合うなど、職員の中に浸透して実践に活かされている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域で開催されているお花見やお祭りに参加したり、毎年夏に開催される地域交流バーベキューでは地域の皆様とご一緒に楽しむ機会を設けております。	町内会主催の毎月行われる「ふれあい広場」に、利用者は好きなプログラムを選んで交代で参加している。近所で飼っているセラピードッグと散歩中に触れ合ったり、近所の人と玄関先で会話を楽しみ、身近な近所付き合いが日々行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の中で認知症サポーター養成講座を開催し町内の方々、ご家族様に参加して頂き、認知症の方々へのご理解を深めて頂けるよう努めております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催しており、地域包括支援センター、町内会代表、ご家族様にもご出席頂き、日常の報告や様々なご意見、アドバイスを頂いております。	会議では行事や外部評価結果を報告し、感染症や防災を話題に意見を交換している。認知症サポーター養成講座のミニ勉強会には家族の参加率が高く、近所の方も参加している。行事の際にボランティアの紹介や、ふれあい広場の情報を得ている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者は札幌市や白石区の関係各所との会議等に出席し、情報の収集や意見交換を図り、区役所の担当者とも直接連絡を取る等し信頼関係を築き協力体制を図っております。	市の担当者とは、昨年の実地指導の際に書類関係で頻りに相談している。介護保険課や生活保護課の担当者とは必要に応じて連携を密にしている。区の管理者会議の研修会に職員も参加して資料やネットの閲覧で内容を共有している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関にはセンサー設置し夜間以外は玄関の施設せず、入居者様やご家族様、地域の方々から自由に入りができるようにしております。身体拘束することのないケアを会議等で話し合い実践できるよう努めております。	身体拘束の弊害を新人研修や外部研修に参加した職員の報告で共有している。会議でベッド柵や車椅子で拘束にならない方法を話し合い、ケアの中で確認している。言葉遣いで命令的な口調や声のトーンに注意し、尊重した言葉遣いを常に意識している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部で開催される虐待防止に関する研修で知識を学び意識を高めると共に、常に適切なケアが成されているか対話して大切にしております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加し権利擁護について学び、制度を把握、理解しご家族様には、状況に応じ相談、支援を行っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に面談、見学を行って頂き疑問に思われる事、不安に思われることなど、納得して頂けるよう誠意を持って対応しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し意見を頂けるようにしております。また、直接意見して頂けるようご家族様との対話を大切に信頼関係を築いております。	来訪が少ない家族には電話で報告する際に意向を確認し、来訪時に個別の意見を聴いている。介護計画の意向も話し合い、気づきノートで個別ごとに記録して些細な思いにも対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議や全体会議を行い意見交換を行っております。また、定期的に個人面談を設け反映されるよう努めております。	ユニット会議でケアの確認や計画の見直し、外部研修の報告などを話し合い、大きな行事は職員が交代で企画している。個人面談では理念の確認や個人目標を共有したり、個人的な相談に乗り働きやすい環境に配慮している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は、定期的に面談を行い個々に相談、指導を行っております。職員全員が働きやすい環境作りを心がけ日々努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修、外部研修に積極的に参加しスキルアップを目指しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修や講習会等に参加し同業者との意見交換を行い質の高いサービスの提供ができるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	担当スタッフを中心とし、安心して過ごして頂ける様、積極的にコミュニケーションを図り本人様のニーズに応える様、努力しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様と面談や電話等でコミュニケーションを図り、ご家族様の希望を受けとめるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスの利用開始時に、ご本人様ご家族様の考え、要望を聞き取り必要としているサービスを迅速に見極め他サービス利用も含めた対応に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お一人お一人の能力に応じ、出来ることは行って頂けるよう環境を整え、職員と共に協働しながら和やかな生活が出来る様に努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の来訪時にはご本人様とご家族様が共に楽しく過ごせるような環境を作り、また定期的にお便りを送り、状況を報告し共にご本人様を支えていく関係を築けるよう努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外食やドライブ、外泊などご家族様と過ごす時間を大切にできるように努めております。また、ご友人と教会の行事に出掛けられたり、訪問を受ける方もおり、これまでの関係、生活を継続できるよう支援しております。	友人のお迎えで馴染みの教会に出かけている。個別に居室でハーモニカを教わっているボランティアとは馴染みになっている。家族と昔住んでいた場所に出かけたり、温泉に行く方もいる。選挙に同行したり、趣味の買い物支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お一人お一人の性格などを理解し、良好な関係を保って頂けるよう必要に応じた見守り、支援を行っております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたご家族様から相談を受けフォローしています。退去されてからも近況のお知らせを受けています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話よりお一人お一人の想いを汲み取り、困難な場合はスタッフ間でご本人の立場にたつて想いを汲み取りご本人様の望む生活を送れるよう支援しています。	会話や普段の行動から思いを汲みとっている。入居時にセンター方式のアセスメント表に家族が記録し担当職員が追加して完成している。更新時には変化を分かり易く赤字で記入し情報を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様、ご家族様にも協力して頂き、センター方式を活用し情報共有し、これまでの生活が継続できるよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々入居者様の生活を観察、見守りしながら個々の望まれる生活が出来る様、努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に介護計画の見直しをし、医師、看護師、ご家族様とその都度話し合いをし、入居者様の暮らしがより良くなるように努めております。	3か月ごとに介護計画を見直し、担当職員と計画作成担当者がサービス項目ごとに評価を行い、会議で内容を確認して介護計画を作成している。日々の記録では目標に沿ったサービス内容の変化も記載して見直しにつなげている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々入居者様の様子はケース記録、月間ケース記録に記入して職員間で情報の共有をしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護タクシーの手配、宗教活動への参加支援、オムツサービス利用などご家族様からの要望に応じて対応可能なサービスの紹介などを行い、豊かな生活が送れるよう支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練時に消防団の方の参加があり、また町内会主催のふれあい広場に参加させて頂いたり、セラピー犬の訪問などもあり、地域で暮らす中で毎日を穏やかに過ごして頂ける様、努めております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回の全体往診と個別往診の他、その都度、外来受診や電話での相談を行っております。	協力医療機関の内科と歯科の往診があり、専門的な他科受診は家族や職員の支援で受診している。家族が対応する時は健康情報を渡している。「月間ケース」に往診、通院、健康情報を個別に記録している。	

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に2回訪問看護師の往診があり、入居者様の健康状態や気になる事などを報告・相談し、処置が必要な場合は都度、的確な処置を行って頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様の状態が急変した場合は主治医に連絡し指示を仰ぎます。入院時には情報の共有が円滑に行えるよう協力しております。早期退院・ホームでの生活維持が出来る様、体制作りにも努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	当施設での重度化看取りの方針を作成しご家族様への説明を行っています。また、入居者様の日々の様子をご家族様・担当医等とこまめに報告・相談することで重度化、終末期の意思確認を徹底しております。	利用開始時に重度化対応や見取りの考えを文書で説明し、医療行為が継続する時は対応が難しいことも伝えている。重度化から状態変化に応じて関係者で方針を確認し、「見取り介護に関する同意書」を個人ごとに作成して看取りケアを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時、その後のカンファレンス等で振り返りをし事故の再発防止に努めると共に、定期的に応急処置や初期対応の研修に参加し、常に慌てず的確な対応が出来る様心がけております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回昼間・夜間想定で火災だけではなく地震や水害などの自然災害を想定した避難訓練を有料老人ホームと合同で行っております。緊急連絡網の作成・非常時持ち出し袋の常備など体制を整えております。	日中想定自主訓練を行い、消防署と町内会役員や近所の協力を得て、水害想定で避難訓練を実施している。地震を想定して避難場所や事業所内の危険箇所と各ケア場面での対応を確認している。職員の救急救命訓練の受講は定期的に行っている。	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の尊厳を損なうことのない様、丁寧な対応・言葉遣いを心がけております。	入社時に法人研修を2年間実施して職員の資質向上に取り組んでいる。人格を尊重する言葉かけや対応をケアの実践で理解を深めるため、管理者はわかりやすい指導を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様お一人お一人に合わせた個別の対応を行いご本人様の思いなどを表現しやすい環境づくりを心がけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	介護スタッフは業務優先にならない様気を付け、入居者様の生活に沿った支援ができる様、体制を整えております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1度、訪問理美容を利用し入居者様の希望に沿ったヘアカットを行っております。希望する方はパーマや毛染めなども行っております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	行事食や出前、外食を取り入れ食事を楽しんで頂ける様、努めております。毎食後の片づけは入居者様同士で協力し一緒に行っております。	法人作成の献立を利用者と一緒に調理し、食事づくりをしている。行事食の献立は選択でき、人気ある出前寿司や外食など食事を楽しむ機会を計画している。庭でのバーベキューや手作りおやつは好評である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お一人お一人の状態に合わせた食事の提供を行うと共に、食事量、水分量を記録し確認しております。また、リビングにお茶のポットを用意し自由に飲んで頂ける様、支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月2回歯科医に往診して頂くと共に、毎食後の口腔ケアを行って頂ける様声掛け、状況に応じた介助を行い口腔内の清潔保持・誤嚥性肺炎の予防に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	お一人お一人の排泄状況を確認しトイレ誘導を行い、ご自分で出来るだけ行って頂ける様に見守り、必要に応じた介助を行い自立支援に努めております。	全員がトイレ排泄を継続できるように生活リズムや習慣、排泄パターンに応じた個別支援に力を入れている。トイレは利用者のペースで使用できるように3か所に配置している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医、訪問看護師と連携を図り下剤の調整を行い、必要時には腹部マッサージ等を行い排便コントロールが整えられる様、支援しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の順番や時間帯・同性介助などご本人が心地よく入浴を楽しんで頂ける様、お一人お一人に合わせた入浴支援に取り組んでおります。	身体状況により複数の介助者や福祉用具を使用して安全な入浴介助を行っている。利用者は入浴剤や担当職員との会話を楽しみ、週に2、3回は入浴している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人の生活習慣に合わせリビングや居室でくつろぐことが出来る様、居住空間を整え、必要な方のみ主治医と連携を図り薬の調整を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	セット時、服薬時の確認を重視し確実に服薬が出来る様に支援しております。また調剤薬局の服薬管理指導にて情報共有をし安全な服薬支援を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人お一人の残存能力を生かし、個々で出来るお手伝いや趣味活動が行えるよう支援しております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は入居者様同士で誘い合って散歩にでかけたり、町内会のふれあい広場やお花見行事に参加させて頂いております。また、お花見や紅葉狩り、雪まつり見学など季節ごとに外出行事を企画し楽しんで頂いております。	近隣の公園への散歩は定着し車椅子利用者も介助で参加している。普段の会話から外出希望を把握して個別支援で対応している。ホーム恒例の花見や紅葉狩り、冬の行事と外出する機会が多い。隣接の同法人有料老人ホームの多彩な行事にも参加している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	移動販売などを活用しお買い物を楽しんで頂ける様支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様やご友人からの電話を取り次いだり、年賀状のやり取りなど行えるよう支援しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様に手伝って頂きながら毎日の清掃を行い、季節を感じられる様、装飾を工夫しております。	大きな窓からの採光も充分あり、リビングや食堂には利用者が集まってテレビ鑑賞や体操、談話を楽しむ居心地よい場所となっている。食堂の掃除などに利用者も参加する事があり、共用空間は掃除が行き届き清潔感がある。職員は適度な温・湿度に調整して細やかに環境を整備している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや廊下にソファを設置し少人数でくつろげる空間を配置したり、食席の配置を工夫し毎日を穏やかに過ごすことができるよう支援しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様をご家庭で使用していた家具や写真などを持ってきて頂き居室でくつろげる様、工夫をこらしております。	見馴れた小物や使いやすい家具をそばに置き、居心地よい部屋作りを支援している。孫の写真や趣味の作品など利用者の大事な思い出を飾り、長年の習慣を継続して安心できるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室前にお花や表札を設置し自室が認識できるよう、また、トイレや浴室などにも認識できるようプレートを設置しております。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり菊水元町 めろん館		
所在地	札幌市白石区菊水元町9条1丁目3番1号		
自己評価作成日	平成30年1月17日	評価結果市町村受理日	平成30年3月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に恵まれた場所であり、日常的に季節の移り変わりをを感じる事ができ、地域の皆様の協力を得てこの地で安心した毎日を過ごさせて頂いております。また、医療機関・ご家族様の協力によって看取り介護を行わせて頂き、職員の大きな成長につなげることができました。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2017.022_kani=true&JigyosyoCd=0170502512-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成30年1月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム理念をスタッフルーム内の見やすい所へ掲示し、スタッフ間で内容の共有。サービスと理念が合致するよう努めております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会主催のふれあい広場に参加させて頂いております。地域交流バーベキューに参加頂いたり、クリスマス会には余興をお願いし地域の方々と共に過ごさせて頂いております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で、地域包括支援センター職員の協力を得て講演を会を行い、認知症の方へのご理解、支援の方法をお伝えしております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で、入居者様の活動状況、行事報告、外部評価結果の報告行い、皆様のご意見・要望をお聞きし、サービスの向上に繋げています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	札幌市や白石区の連絡会に参加し、情報の収集や交換を行い、市や区とは連絡や実地指導等を通じて意見や要望等交換しております。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内に身体拘束委員会を設置。委員会でマニュアルを作成し、事務所に置き、スタッフの学習、実践へ役立てています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修に参加し、毎月行うスタッフ間の会議等で情報共有し、防止に努めております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修会に参加し、該当するケースがあれば活用するよう努力しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や解約時には、ご家族様と話し合い、疑問点や、不安点を残さないよう努力しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置、サービス提供時の入居者様のご意見、運営推進会議等でのご家族様のご意見等を汲み上げ、職員間で話し合い、反映できるよう努力しております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行われるユニット会議で意見交換の場を設けており、職員からの要望は管理者が社内会議等で提案し、現場に反映されています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	向上心を持って働けるよう管理者は年2回の個人面談の場を設け、職場環境の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップ出来るよう本社研修課による社内研修を定期的に行い、社外研修にも参加出来るよう支援しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は他グループホームと会議等を通じて情報交換、情報共有をしてサービス向上の努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様との対話の中から要望などを聞き取り、アセスメントを作成し、安心して生活して頂ける様環境作りに努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメント作成に協力して頂く中でご家族様の要望を聞き取れるよう心掛けており、不安の解消に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様との対話や、ご家族様との面談の中から必要とし望まれるサービス提供が出来るよう心掛けております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の望まれる生活を送れるよう日々の習慣を大切にし、家庭的な関係作りに努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に参加して頂く行事等を定期的に設けたり、病院受診の同行などを通じて共に寄り添い、支え合える関係作りに努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様の協力により、以前住まわれていた自宅への訪問や、電話連絡等知人との面会、お互いに支え合える関係作りに努めております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様一人ひとりの生活スタイルを把握し、職員が利用者様間の調和となり個々に合った支援を行えるよう努めております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後もお花、葉書を送りご家族様との関係を大切にしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活、会話の中から要望や想いを受け取り、利用者様の意向に添えるように努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様より頂いた入居前の情報や前サービス内容を把握し、その方らしく過ごせる環境作りに努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の日々の状態をスタッフ全員が把握出来るようケース記録、気付いた事ファイル、申し送り等を用いて常に情報を共有しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	センター方式を元にケアプランを作成し、毎月ユニット会議でカンファレンスを行い状況に応じご家族様、主治医看護師と話し合い、対応しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	普段の些細な様子や気づいた点、異変などの情報を集めて日々記録に残しサービスの見直しや次の介護計画作成に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様にご協力頂き、病院受診、主治医の往診、鍼灸師など個人のニーズに対応したサービスの支援に取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会主催のふれあい広場に入居者様が参加し、地域の方々と交流を持たれております。また町内会の皆様に運営推進会議に参加して頂き情報交換を行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科主治医の往診が月2回、看護師の往診が週2回あり、特変があれば24時間相談可能になっております。 歯科医の往診も月2回あり、受診体制も整っております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回看護師の往診があり、入居者様の日々の体調の変化や、特変などを訪問看護師への申し送り表に記入し、往診時に指示を頂き入居者様の健康管理を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	緊急時は医療機関へ受診が出来るように、体制を整えております。また入居者様が入院された場合は、ご家族様や医療機関との情報交換を行い、早期退院に向け努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の際に重度化した場合や看取りについてご本人様やご家族様への説明を行わせて頂き方針を共有し、医療機関とも連携を取りながらチームで支援に取り組んでおります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時はいつでも主治医の指示を仰げる体制を整えており、職員は定期的に救命講習を受講し、対応について学んでおります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、日中と夜間を想定した避難訓練や水害を想定した訓練を実施。町内会の方々にもご協力を頂き、火災通報の連絡先に登録させて頂いております。緊急連絡網を作成し体制を整えております。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩である事を常に念頭に自尊心やプライバシーに配慮した言葉掛けや対応を心掛けております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が気兼ねなく、ご自分の希望を伝える事が出来る関係作りや、環境作りを心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務主体ではなく、入居者様を中心に考え、ひとりひとりに合わせた支援を心がけております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節や気温に合わせ、可能な限りご本人の意思を尊重した衣類の着用の支援を行い、新調時には職員が同行し購入を行っております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事はコミュニケーションを意識した声掛けを行い、食事が楽しくなる環境づくりに努めております。下膳や食器洗いなど可能なことはお手伝い頂いております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事時の摂取に偏りが出ない様に召し上がって頂くための声掛けや、入居者様に合わせて刻み食や水分にトロミをつけて提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、口腔内や義歯の状態の把握に努めております。不穏や混乱、ご自身で行うのが困難な方は職員が介助行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者様の排泄状況を記録し、適切に排泄が行えるように誘導を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	腸に刺激を与えるように昼食後に体操を実施しています。また消化しやすくする為に食事時は咀嚼回数を増やして頂くように声掛けを行っています。下剤の調整も行っております		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調やご本人の希望にできるだけ浴ように入浴計画を立てています。入浴が苦手な方には気持ちよく入浴して頂けるように、声掛けの工夫や入浴剤を使用し楽しめる環境作りを行っています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ベットメイクの工夫や、夜間中の居室内の室温管理を行い利用者様に良眠頂ける環境作りを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	食前、後に職員同士で日付、名前などを読み上げて確認し、入居者様にもご確認頂いてから服薬し飲み込みまで見守り行っております。薬の空き袋を確認した後に破棄しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その時の体調に合わせて拭き掃除や下膳、洗濯物たたみ、買い物、生花、など職員と一緒にいき、参加しております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候により、近隣の公園や周辺を散策、ドライブ等の支援を行っております。お花見、紅葉狩り、雪まつり鑑賞ドライブ等の季節に合わせた外出行事も行っております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ひとりひとりの能力に応じてお金を所持して頂き、移動販売時のご利用時や神社のお賽銭など職員が付き添い支援行っております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様や知人との連絡が円滑に出来る様、リビングに電話を設置し、ご利用頂いております。手紙や年賀状のやり取りも代筆や投函など支援行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日、清掃を行い温度や湿度にも気を配り、快適に過ごして頂けるよう努めております。共有スペースは季節に応じた装飾をし四季を感じて頂けるよう配慮し、ゆっくりと過ごせるよう工夫しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースには食卓テーブル以外にもテーブルやソファを設置し、お一人で新聞やテレビを見られたり、他入居者様と会話が出来環境作りを心掛けております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前よりご家族様と相談し、慣れ親しんだ物や家具などを持ち込んで頂き、住み慣れた環境作りを支援しております。居室にはご家族様の写真を飾り安心して頂いております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ひとりひとりに合わせて手すり拭き、床掃除、食器拭き、タオル畳みなど混乱が無いように安全に出来る様、支援しております。		

目標達成計画

事業所名 グループホームみのり菊水元町

作成日：平成 30年 3月 1日

市町村受理日：平成 30年 3月 5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	移転先の近隣の方々や町内会との関係づくり	グループホームを地域の方々にご理解頂けるよう関係を築いていく。	町内会の入会、運営推進会議への参加、講習会や交流会等イベントの開催、参加	1年
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。